

## 研究所彙報

### 一 二〇二一年度研究所・所員リスト

- 教授 早矢仕 智子（日本語教育学）  
教授 市野澤 潤平（文化人類学）  
教授 今林 直樹（国際関係論）  
教授 木村 春美（第二言語習得・英語教育）  
教授 九里 順子（日本近代文学）  
准教授 栗原 健（宗教学・近世ドイツ史）  
准教授 間瀬 幸江（フランス文学・演劇）  
准教授 松本 周（悲嘆ケア、キリスト教社会倫理）  
教授 松浦 光和（心理学）  
教授 宮原 育子（地理学・地域資源論・観光まちづくり）  
准教授 永田 貴聖（文化人類学・移民研究）  
教授 清水 禎文（教育学）  
准教授 杉井 信（社会人類学）

准教授 高橋 陽一 (日本近世史・旅行史・歴史資料保全学)  
 教授 田中 一裕 (生態学)  
 教授 天童 睦子 (女性学)  
 教授 豊澤 弘伸 (国語教育)  
 教授 八木 祐子 (文化人類学)  
 准教授 兪 幃蘭 (臨床心理学、家族心理学)  
 教授 吉村 典子 (西洋美術・デザイン史)  
 客員研究員 阿部 隆 (宮城学院女子大学名誉教授・人文地理学)  
 客員研究員 後藤 純子 (元大阪市立大学文学部助教授・インド学・宗教学)  
 客員研究員 後藤 久太郎 (宮城学院女子大学名誉教授・建築史)  
 客員研究員 早坂 優子 (多賀城市教育委員会事務局文化財課調査普及係・民俗学)  
 客員研究員 平川 新 (元宮城学院女子大学学長・日本近世史研究・歴史資料保存学)  
 客員研究員 井上 研一郎 (宮城学院女子大学名誉教授・近世美術史)  
 客員研究員 犬飼 公之 (宮城学院女子大学名誉教授・古代文学)  
 客員研究員 岩川 亮 (元宮城学院女子大学准教授・フランス語学・文学)  
 客員研究員 J. F. モリス (宮城学院女子大学名誉教授・日本文化論)  
 客員研究員 片瀬 一男 (東北学院大学教授・教育社会学・計量歴史社会学)

客員 菊池 勇夫 (宮城学院女子大学名誉教授・日本近世史)  
客員 木曾 恵子 (東北学院大学および宮城学院女子大学非常勤講師・文化人類学・タイ地域研究・ジェンダー研究)

客員 丸山 仁 (宮城学院中学校・高等学校教諭・日本中世史)

客員 森 雅彦 (宮城学院女子大学名誉教授・西洋美術史)

客員 大迫 章史 (東北学院大学准教授・近代日本高等教育史・近代日本教育制度史・教育行政学)

客員 新免 貢 (宮城学院女子大学名誉教授・宗教学)

客員 土屋 純 (元宮城学院女子大学教授・地理学)

客員 富永 智津子 (元宮城学院女子大学教授・東アフリカ・インド洋地域近現代史)

客員 安田 容子 (東北大学災害科学国際研究所助教・生き物文化誌〈人と動物の関係史〉・日本近世美術史〈地方文人・画人研究〉)

## 二 共同研究について

本年度の共同研究は次のとおりである。

「南島における民族と宗教」

「多民族社会における宗教と文化」

共同研究の成果として、次の冊子が刊行された。

『沖縄研究ノート』No.31

『多民族社会における宗教と文化』No.25

三 二〇二一年度研究活動報告

公開講演会

二〇二一年十二月四日（土）一三時三〇分～一六時

（＝宮城学院女子大学講堂より対面／YouTubeLive 配信併用）

「日本の次世代のこれから～多様化する世界で生きよう～」

講師 ウスビ・サコ氏（京都精華大学学長）

共 催 人間文化学科／人間文化学会、現代ビジネス学科／現代ビジネス学会、生活文化デザイン

学科／生活文化デザイン学会

後 援 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報、thc 東北放送、kfb 東日本放送、ミヤ

ギテレビ、仙台放送

第一回公開研究会（キリスト教文化研究所・発達科学研究所合同新所員紹介研究会）

二〇二一年六月十一日（金）に開催を予定しておりましたが、コロナ感染対策等の諸事情により延期

第二回公開研究会（キリスト教文化研究所新所員紹介研究会）

二〇二一年六月三〇日（水）一四時四〇分～一六時一〇分（本学人文館四階A四〇五）

報告 悲嘆（グリーフ）ケアと社会倫理

松本

周氏（宮城学院女子大学一般教育部准教授・日本キリスト教団牧師）

第三回公開研究会（キリスト教文化研究所・発達科学研究所・人文社会科学研究所合同新所員紹介研究会）

二〇二一年七月一六日（金）一六時二〇分～一七時五〇分（本学講義館四階C四〇三）

報告 「日本語演習」におけるアクティブラーニングになりきり「ゆるキャラ」の事例を通して―

早矢仕 智子（宮城学院女子大学一般教育部教授）

〈共同研究「多民族社会における宗教と文化」主催〉

第一回公開研究会

二〇二一年九月一五日（水）一四時四〇分～一六時一〇分（オンラインZoom）

報告 混乱するタイ政治の現在

水上 祐二氏（タマサート大学政治学部研究員、元在タイ日本大使館二等書記官、

元チェンマイ大学文学部専任講師）

第二回公開研究会

二〇二一年一〇月二八日（木）一六時二〇分～一七時五〇分（本学講義館四階C四〇三）

「コロナ禍のヨーロッパ」

報告Ⅰ イタリアの事例から

堀籠 莉奈氏（本学卒業生・元在イタリア日本国大使館在外公館派遣員）

報告Ⅱ フランスの事例から

間 瀬 幸 江氏（宮城学院女子大学一般教育部准教授・二〇二〇年度リヨン第二大学招聘研究員）  
第三回公開研究会

二〇二一年一月二十六日（金）一五時～一七時三〇分（＝オンラインZoom）  
「ルーツを考える」

報告Ⅰ 狭間で立ち尽くす「サイレントアイヌ」の経験と日本の人種的透明性

石 原 真 衣氏（北海道大学アイヌ・先住民研究センター助教）

報告Ⅱ 複数のRootsを交差させる研究活動試論

永 田 貴 聖氏（宮城学院女子大学現代ビジネス学科准教授）

リプライ・コメント

下地ローレンス吉孝氏（「ハーフ」研究 社会学 ハワイ大学研究員）

第四回公開研究会

二〇二一年二月一六日（木）一六時二〇分～一七時五〇分（本学講義館四階C四〇三）

「コロナ禍のヨーロッパⅡ」

報告 コロナ禍フランスの大学生活～二〇二〇年度の新聞記事から～

間 瀬 幸 江氏（宮城学院女子大学一般教育部准教授・二〇二〇年度リヨン第二大学招聘研究員）

第五回公開研究会

二〇二二年二月二十五日（金）一四時～一六時（＝オンラインZoom）

「香港の自由の行方」

講演Ⅰ 香港危機と香港のこれから

倉田 徹氏（立教大学教授、現代香港政治）

講演Ⅱ カエサルとキリスト…中国式愛国主義に向き合う香港のキリスト教

松谷 暉 介氏（金城学院大学准教授、中国キリスト教史）

第六回公開研究会

二〇二二年三月九日（水）一四時～一六時二〇分（＝オンラインZoom）

「ルーツを考えるⅡ」

司会 永田 貴 聖氏（本学現代ビジネス学科准教授）

報告Ⅰ 東北の関西人のダイアログ——移動とことばを巡って

川口 幸 大氏（東北大学文学研究科 教授）

津川 千加子氏（独立研究者）

報告Ⅱ ルーツを見つめ直す異文化経験——京都の農村を通して理解するジャカルタの集落

中村 昇 平氏（京都大学東南アジア地域研究研究所・連携研究員）

第七回公開研究会（共催 現代ビジネス学科永田貴聖研究室）

二〇二二年三月二十六日（土）一四時～一六時三〇分（≪本学講義館四階C四〇一）

「ルーツを考えるⅢ」

司会 永田貴聖氏（宮城学院女子大学現代ビジネス学科准教授）

研究会テーマ 何と何をつなげて考えれば良いのか

—在日コリアンのフィールドワーク二〇年をふりかえる—

川端浩平氏（津田塾大学学芸学部准教授）

#### 四 所員消息（二〇二一年四月—二〇二二年三月）

早矢仕 智子 教授

学会発表「日本語学習者と日本人大学生との協同授業—「日本企業のSWOT分析」を通して—」（27th

Princeton Japanese Pedagogy Forum, プリンストン大学【オンライン】）二〇二二年五月八日

著書「日本語教師／学校教員養成課程の学生達のオンラインでの学び—地域の外国人・年少者との実践を通して—」

島崎薫・高橋亜紀子・早矢仕智子・ヒューレット柳澤えり子（共著）『オンライン国際交流と協働学習 多文

化共生のために』村田晶子（編著）二三五～二五六頁（くろしお出版、二〇二二年二月）

市野澤 潤 平 教授

著書「ダークツーリズムの複雑さ：メディアが作りだす、メディアを見る観光」藤野陽平・奈良雅史・近藤祉秋（共

編著)『モノとメディアの人類学』九五〜一〇八頁(ナカニシヤ出版、二〇二一年三月)

著書『観光人類学のフィールドワーク…ツーリズム現場の質的調査入門』市野澤潤平・碓陽子・東賢太郎(共編著)

(ミネルヴァ書房、二〇二二年五月)

解説「フードコート」野林厚志ほか(編)『世界の食文化百科事典』(丸善出版、二〇二一年一月)

学会報告「フィールドワーカーへの想像力…『観光人類学のフィールドワーク』をめぐる覚え書き」観光学術学

会第一〇回研究大会(オンライン、二〇二二年七月四日)

九里 順子 教授

著書『詩の外包』(翰林書房 二〇二二年二月)

論文「地を這う透谷——「亡友反古帖」より見えるもの——」(『日本文学ノート』五六号 二〇二二年七月)

エッセイ「夕べの雲」庄野潤三——日常への意志——(『ひとおもい』三号 二〇二一年七月)

エッセイ「飛び越えるな、すり抜けよ」(『鬣』八〇号 二〇二一年八月)

エッセイ「昭和歌謡の懐」(『カリヨンの調べ』『河北新報』二〇二二年一〇月二三日)

エッセイ「言葉」(『鬣』八一号 二〇二一年一月)

エッセイ「愛の壁」(『鬣』八二号 二〇二二年二月)

エッセイ「そこにいる夕爾」(『福井新聞』二〇二二年三月一六日)

エッセイ「詩の外包十三 二人の詩神」(『鬣』七九号 二〇二一年五月)

エッセイ「詩の外包十四 里山の春を離れて」(『鬣』八一号 二〇二二年一月)

エッセイ「詩の外包十五 駅前のアルカディア」(『鬘』八二号 二〇二二年二月)

俳句「水のやうに光のやうに」(『鬘』七九号 二〇二二年五月)

俳句「街路」(『鬘』八〇号 二〇二二年八月)

俳句「点描」(『鬘』八一号 二〇二二年一月)

俳句「暖色」(『鬘』八二号 二〇二二年二月)

「坪内稔典一〇〇句 一句鑑賞」(『鬘』八〇号 二〇二二年八月)

一句鑑賞『21世紀俳句選集』(『鬘』八一号 二〇二二年一月)

感想「第二三回小野十三郎賞特別奨励賞 受賞の言葉」(『樹林』六七八号 二〇二二年一月)

最終講義「情況と詩——木下夕爾と秋谷豊——」(二〇二二年一月二六日 於C三〇八 一六時～一七時三〇分)

栗原 健 准教授

著書『『幽霊ミサ』伝説を読む——中世・近世ドイツにおける「異界」との往還——』宮城学院女子大学人文社会科

学研究所(編)『『往還』の諸相』一九七—二二五頁(翰林書房、二〇二一年七月)

資料紹介「あらたなる希望の花を胸に秘め——宮城女学校生徒による短歌の世界(1910年～1940年)——」(『宮城学

院資料室年報』第二七号、二〇二二年三月)

新刊紹介 Mathijs ILINK, Jos KOLDEWEIJ, Ron SPRONK, *From Bosch's Stable: Hieronymus Bosch and*

*the Adoration of the Magi* (『西洋中世研究』第一三三号、二〇二二年二月、一五〇頁)

新刊紹介 Time Luk MEGANCK and Sabine VAN SPRANG, *Bruegel's Winter Scenes: Historians and Art*

*Historians in Dialogue* (『西洋中世研究』第一三三号、二〇二一年一月、一五五頁)

新刊紹介 Erik A. HEINRICH, *Plague, Print, and the Reformation: The German Reform of Healing, 1473-*

1573 (『西洋中世研究』第一三三号、二〇二一年一月、一七四頁)

コラム「聖書のことば 列王記上一九章七節」(『キリスト教学校教育』第七四七号、二〇二一年一月一日)

本学キリスト教講座「クリスマスツリーのひみつ!」(二〇二一年十二月二三日、キリスト教センター)

間瀬 幸江 准教授

研究ノート「本」は心の食べ物であり、生活必需品である〜コロナ禍が可視化したフランスの読書文化の自律性〜(『キリスト教文化研究所研究年報、二〇二二年』五五〜七六頁)

論文「二〇世紀フランス演劇史の洞をのぞく——クリスチャン・カサドシユとは何者か」(宮城学院女子大学研究

論文集一三三、二〇二一年一月) 一〜二二頁

研究会報告「コロナ禍のヨーロッパ フランスの事例から」「本」は心の食べ物であり、生活必需品である」(宮

城学院女子大学附属キリスト教文化研究所〈共同研究「多民族社会における宗教と文化」主催〉第四回公開

研究会 二〇二一年一月二十八日(木)

研究会報告「コロナ禍のヨーロッパⅡ コロナ禍フランスの大学生活〜二〇二〇年度の新聞記事から」(宮城学

院女子大学附属キリスト教文化研究所〈共同研究「多民族社会における宗教と文化」主催〉第二回公開研究

会 二〇二一年一月二十六日(木)

番組制作「声のつながり大学」(仙台コミュニティFMラジオ3) ディレクター

松本 周 准教授

論文「柏木義田における祈りと社会批評との関係理解」(『研究年報』第五五号、本学キリスト教文化研究所、二〇二二年三月三十一日、四一―五三頁)

研究ノート「2月11日は「信教の自由を守る日」——制定の経緯」(『信徒の友』二〇二二年二月号、日本キリスト教団出版局、二〇二二年二月一日、三四―三七頁)

新刊紹介「松谷暉介編訳『香港の民主化運動と信教の自由』」(『信徒の友』、二〇二二年五月号、二〇二二年五月一日、六二頁)

コラム「クリスマス」(『河北新報』、二〇二二年二月二十五日、一七頁)

講演「御国をアジアに來たせたまえ」日本基督教団仙台台東一番丁教会(二〇二二年一月二日)

高橋 陽 一 准教授

論文「Traditional Culture and Modern Administration: The Meiji Government's Hot Springs Policy and Local Community」(Timothy D. Amos・Akiko Ishii『Revisiting Japan's Restoration: New Approaches to the Study of the Meiji Transformation』Routledge、二〇二二年十一月)

論文「これからの古文書サークル活動―コロナ禍の経験を踏まえて―」(『地方史研究』四二二、地方史研究協議会、二〇二二年八月)

論文「他領民の藩認識―水戸藩領への旅行者を事例に―」(『宮城学院女子大学研究論文集』一三二、二〇二二年六月)

- エッセイ「(連載) 日本の歴史と旅」〔NETT〕 一一一～一一五、ほくとう総研、二〇二二年一月・四月・七月・  
一〇月・二〇二二年一月)
- コラム「旅日記の史料的可能性―日本近世史研究の立場から―」〔学士会会報〕 九四八、二〇二二年五月)
- 講演「病を想う―江戸時代の温泉療法―」(人間文化学科地域開放講座) BRANCH 仙台・まちづくりスポーツ仙  
台(二〇二二年一〇月)
- シンポジウム「活かされた資料保全知―宮城県岩沼市の震災関連資料収集―」(第七回全国史料ネット研究交流  
集会) オンライン開催(二〇二二年二月)
- 学会報告「知識人のみた水戸藩―他領民の藩認識―」(交通史学会二〇二二年度第一回例会) オンライン開催  
(二〇二二年七月)
- 調査 仙台市青葉区作並温泉「鷹泉閣 岩松旅館」古文書調査(二〇二二年八月)
- 田 中 一 裕 教授
- 論文「宮城学院女子大学構内のチョウ類相」(生活環境科学研究報告、宮城学院女子大学、二〇二二年三月)
- 論文「Winter polyol metabolism of the house spider, *Parasteatoda tepidariorum* is essentially the same  
between adults and nymphs.」(*Acta Arachnologica*, 二〇二一年六月)
- 講演「家の周りを観察しよう」(宮城いきいき学園石巻校・宮城県社会福祉協議会) 東松島市矢本東市民センター  
(二〇二二年一〇月二七日)
- その他「北海道におけるマダラヒメグモの初記録」(KISHIDAIA, 東京蜘蛛談話会、二〇二二年二月)

天童睦子 教授

著書(編著) 天童睦子編『キャリアを創るー女性のキャリア形成論入門』分担執筆箇所「まえがき キャリア教育を学ぶあなたへ」、一章「社会を知りキャリアを創るー女性のキャリア形成論入門」、二章「ジェンダーで読み解く現代社会ー女性と労働」一一二頁(学文社、二〇二二年五月)

論文「知識伝達とジェンダーー隠れたカリキュラムの視点」『学術の動向』第二六巻第七号(通巻三〇四号)、一七一一二頁、(日本学術協力財団 二〇二二年七月)

論文 Tendo, M. & Takahashi, H. (Oct. 2021). Family Education and Symbolic Control in Neoliberal Conditions: Japanese Childrearing Media Analysis. *International Journal of Educational Research*, 110, 101860. <https://doi.org/10.1016/j.ijer.2021.101860>

論文 特集・巻頭言「コロナ禍とジェンダーーローカルとグローバルをつなぐ」「はじめに」(島直子との共著)『国際ジェンダー学会誌』第十九号、五―八頁(二〇二二年十二月)

論文 片瀬一男・天童睦子「宮城学院卒業生の初期ライフコースー女性の高等教育とキャリア展開への社会的アプローチ」(キリスト教文化研究所『研究年報 民族と宗教』第五四号、七―三九頁、二〇二二年三月)  
研究報告書(書評セッション報告) 浅野富美枝・天童睦子編『災害女性学をつくる』、第7回震災問題研究交流会報告書、三二―三七頁、日本社会学会震災問題情報連絡会(二〇二二年一月ウェブサイトによる公開)

書評「戦後大学改革と家政学」(石渡尊子著)『IDEー現代の高等教育』第六三三号、(二〇二一年八月―九月)  
書評「若者支援の日英比較ー社会関係資本の観点から」(井上慧真著)『日英教育研究フォーラム』第二五号

一〇九—一一二頁 (二〇二一年八月)

国際学会報告 Tendo, M. & Shimbo, A. (Oct. 2021). Parenting and Family Education in Japan: Towards a Comparative Study of Cultural Transmission in East Asia, @ the 27th Taiwan Forum on Sociology of Education, authorized as a mid-term conference of RC04, International Sociological Association (ISA), Host: Taiwan Association for Sociology of Education (TASE), National Taiwan Normal University (Online conference)

特集・巻頭言・論稿「女性のエンパワメントと教育の役割」『月刊ウィラーン We Learn』第八一—一〇号、三頁、特集「ジェンダー・センシティブな教育」(日本女性学習財団、二〇二一年九月)

その他・著作紹介 自著を語る「キャリアを創る」『週刊教育資料』第一六二三(二〇二一年八月一六日)号、四九頁(日本教育新聞社 二〇二一年八月)

その他・article, Migration and mobility in childhood, Japan, *Bloomsbury Education and Childhood Studies*, August, 2021, Online Publishing Bloomsbury.

研究報告「日本の家庭教育としつけ戦略の現在—東京・宮城のフィールド調査を中心に」、国際ワークショップ「東アジア地域における家庭教育と規範的文化の伝達の諸相—各地域のケーススタディをふまえて」(早稲田大学、二〇二一年十二月十三日、オンライン)

ワークショップ報告「災害女性学をつくる／広める／深める」(共同報告)、N W E C 男女共同参画推進フォーラム 2021<sup>1</sup>、(国立女性教育会館、二〇二一年十二月十九日、オンライン)

講演 復興庁・男女共同参画班「震災から十年、改めて考える『女性と災害・復興』」（浅野富美枝との共同講演）  
（いわて男女共同参画サポーター養成講座、二〇二一年六月一六日）

発表・シンポジウム 仙台防災未来フォーラム2022「人間の復興はすすんでいるか 東日本大震災から十年  
—いま、市民活動と学問がつながる」（浅野富美枝との共同発表）（主催 仙台市、企画 NPO法人イコー  
ルネット仙台、於 国際センター、二〇二二年三月五日）

八 木 祐 子 教授

編著書 『儀礼と口頭伝承』江口一久編 八木祐子・手塚恵子責任編集、風響社、二〇二二年三月

著書 「北インド社会における女性の儀礼と口頭伝承—婚姻儀礼を中心に—」（江口一久編 八木祐子・手塚恵子  
責任編集）、風響社、一三三〜一五二頁、二〇二一年三月

研究ノート「インド実習にみる異文化体験とその意義—宮城学院女子大学の事例—」『女性学評論』三六号 九

（三五頁、神戸女学院大学女性学インスティテュート

研究ノート「ボージプリー文化圏の婚姻儀礼と民族歌謡（その3）」『多民族社会における宗教と文化』NO.25

宮城学院女子大学付属キリスト教文化研究所（印刷中、二〇二二年三月発行予定）

研究発表「インド実習にみる異文化体験とその意義—宮城学院女子大学の事例—」『大学教育における南アジア  
フィールド学習の意義と可能性—宮城学院女子大学と神戸歩学院大学における実践から—」（神戸女学院大  
学女性学インスティテュート主催、宮城学院女子大学キリスト教文化研究所共催、二〇二二年五月二二日、

オンラインZOOM）

コラム「海外交流を通して学ぶ異文化理解」『仙台経済界』2021.5-6 二二六頁

出前講座 「インドの女神信仰と病い」『病と人間』（宮城学院女子大学人間文化学地域開放講座、ブランチ仙台、

二〇二二年三月二三日）